

R6年度事業名	不登校対策事業
R5年度事業名	不登校対策事業

総合戦略体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
--------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

PLAN計画	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	学校へ行けないでいる子どもたちの学校復帰や社会的自立を促す。					
	概要	学校へ行けないでいる子どもたちの心の居場所、学びの場として教育支援センター鯖江チャイルドを運営し、学校復帰や社会的自立を促す支援を行う。					
	法令等根拠		実施形態	内容	教育相談・適応相談員を配置し、学級復帰支援業務や学習指導を行う。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	相談員人数		人	目標値	4	5	6	6	6
				実績値	4	5	6	6	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	学校復帰率		%	目標値	70	70	70	70	70
				実績値	90.9	82.4	85.4	89.7	
	計算根拠	復帰児童生徒数／適応指導教室通室児童生徒数*100		達成率	129.9	117.7	122	128	
				実数値	50/55	70/85	82/96	78/87	
				ランク	A	A	A		
	前年度ランク								
	B、Cの理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	9,260	9,057	12,066	12,031	15,206		事業タイ	単独事業
	決算額	7,772	8,507	11,646	11,515	14,351		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	221	不登校対策事業費	15,088	14,036
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	14,036

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	5
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	引き続き、教育支援センター鯖江チャイルドにおいて問題を抱える児童生徒の実態に応じ、関係者と情報の共有化を図りながら支援する。 また、不登校児童生徒自立支援応援事業も含め、家に引きこもっている児童生徒に対しても実態に応じて、関係者と情報の共有化を図りながら支援する。 児童生徒の実情に応じた支援ができるよう、高い専門性や指導力を持つ人材を配置する。	
来年度へ向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 教育支援センター鯖江チャイルドに通室している児童生徒が抱える課題は、発達障害や家庭環境など多様で、複合化しているものも多く、かつ相談件数も増えている。 このため、R4年度から高い専門性と指導力、および経験豊富な相談員を増員して対応しており、その需要も高く、今後も引き続き人材を確保して事業を実施していく必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 児童生徒の実態に応じた支援ができるよう、高い専門性や指導力を持つ人材を配置し、問題を抱える児童生徒への支援を強化していく。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置事業
R5年度 事業名	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の心の悩みや問題行動等を解決する。				
	概要	児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーと、福祉に関する専門的な知見を有し関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の心の悩みや問題行動等の解決に努める。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとして専門職員を配置する。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	配置時間/校・週		時間	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4	4	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	カウンセリング実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	カウンセリング実施数/カウンセリング相談件数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	2,464/2,464	3,653/3,653	3,471/3,471	4,828/4,828		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	9,719	8,837	8,534	8,534	8,529		事業タイプ	単独事業
	決算額	8,792	8,837	8,027	8,129	8,338		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	211	学校生活・学習支援事業費	167,631	8,289
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	8,289

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金		2,548
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	2,548	

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	1548

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーと、福祉に関する専門的な知見を有し関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の心の悩みや問題行動等の解決に努める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーと、福祉に関する専門的な知見を有し関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の心の悩みや問題行動等の解決に努めた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	不登校児童生徒が増加しているため、教育相談体制の充実が必要となっており、学校担当者と連携し、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを積極的に活用していく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	引き続きスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを積極的・効果的に活用する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	英語に親しむ活動事業
R5年度 事業名	英語に親しむ活動事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	1998	終了年度	9999
	目的	児童の国際理解教育を推進する。					
	概要	小学生3年生から6年生までの児童を対象に、外国人講師による英会話での授業を行う。 R6年度より小学校1・2年生にも対象を拡大し、年3回授業を実施する。 (3・4年生は年間18回、5・6年生は年間35回)					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	民間業者と契約し外国人講師の派遣にかかる手数料を支払う。		
	現在	民間等委託(一部)					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	授業回数		回	目標値	2,791	2,790	2,790	2,629	2591
				実績値	2,783	2,755	2,613	2629	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	「外国語の学習が好き」と思う児童の割合		%	目標値	78	78	79	79	79
				実績値	78.9	84.4	80.5	82.9	
	計算 根拠	「外国語の学習は好きですか」(SASA5年生対象)		達成率	101.2	108.2	101.8	104.9	
				実数値	565/716	553/655	504/626	503/607	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	17,292	17,292	17,724	16,828	17,786		事業タイ	単独事業
	決算額	17,222	17,168	17,502	16,600	17,786		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	17,786
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	17,786

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	小学校5、6年生は年間35回、小学校3・4年生は年間18回、外国人講師を派遣し、児童が異なる文化を肌で感じながら、よき国際人として成長する基礎を養う。さらに、令和6年度からは全学年に対象を拡大し、低学年(1～2年生)に対しても、1学級当たり年3回の授業を実施し、国際理解教育の推進を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	小学校5、6年生は年間35回、小学校3・4年生は年間18回、外国人講師を派遣し、児童が異なる文化を肌で感じながら、よき国際人として成長する基礎を養った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	本事業により、英語に対して好きだと感じる児童が増え、英会話能力の向上も図られており、今後も継続する必要がある。令和6年度より対象を全学年に拡大し、低学年(1～2年生)は年3回、中学年(3～4年生)は年18回、高学年(5～6年生)は年35回の授業を実施する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	小学校3年生から6年生までを対象としていたが、全学年に対象を拡大し、低学年(1～2年生)に対しても、1学級当たり年3回の授業を実施し、国際理解教育の推進を図る。外国人講師による授業を楽しみにしている児童が多く、小学校3年生から6年生は今後も同様に継続して事業を実施する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	中学生職場体験活動支援事業
R5年度 事業名	中学生職場体験活動支援事業

総合戦略 体系	262	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	ものづくりを核としたふるさと教育の推進
------------	-----	--------------------------------	-------------	---------------------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	働く意識を高める教育を推進する。					
	概要	各中学校の2年生が事業所で2日間の職場体験活動を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	学校が市内の企業や作業所に受入を依頼し、職場体験活動を行っている。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	受入れ事業所数		箇所	目標値	-	-	150	150	150	
				実績値	-	-	217	162		
	市内中学校実施校数		校	目標値	-	-	3	3	3	
				実績値	-	-	3	3		
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	参加生徒数		人	目標値	-	709	669	705	642	
				実績値	-	709	648	705		
	計算 根拠	対象生徒数(中学2年生)		達成率	-	100	96.8	100		
				実数値	-	709/709	648/669	705/705		
				ランク	-	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,028	924	1,028	966	985		事業タイ	単独事業
	決算額	695	647	595	705	840		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	3	2	231	中学生体験活動支援事業費	966	985
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	985

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	2

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	中学校2年生が、将来就きたい仕事を見つけるため、市内の事業所で職場体験活動を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	中学2年生648名が、市内事業所にて2日間の職場体験を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は、市内3中学校が商工会議所から紹介していただいた事業所も含めのべ231事業所にて職場体験を行った。令和6年度は、東陽中学校が生徒および保護者自らが体験する事業所を探す方法も取り入れ、より生徒一人一人の将来ビジョンに近い体験ができるようにする。体験時期等、事業所との調整が必要。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	学校・商工会議所との日程や受入生徒数等での調整
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	食育学習推進事業
R5年度 事業名	食育学習推進事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	子どもたちが「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。				
	概要	子どもたちが「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための学習や体験活動を実施する。 (野菜の栽培・学校給食への利用、伝統料理教室の開催、朝食摂取等のアンケート等)				
	法令等 根拠	食育基本法	実施 形態	内容	各小学校においても野菜の栽培や学校給食への利用、伝統料理教室の開催などを行っている。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施回数		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12	12	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	児童生徒の朝食摂取率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	99.7	99.5	95.3	95.6	
	計算 根拠	朝食摂取者/児童生徒数(1週間毎日朝食摂取者)で、年1回全小中学校に「朝食摂取者調べ」実施	達成率	99.7	99.5	95.3	95.6		
			実数値	1,789/1,794	1,984/1,993	1,840/1,932	1,687/1,763		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,640	2,375	2,375	2,353	2,379		事業タイ	単独事業
	決算額	2,469	2,031	2,152	2,050	2,178		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	231	食育学習推進事業費	2,386	2,379
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,379

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0.05
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	年間を通して、「食」への知識・理解を深めるための学習や体験活動などの食教育を実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	年間を通して、「食」への知識・理解を深めるための学習や体験活動などの食育を家庭や地域と連携しながら行った。また、食に関するアンケートを各学校で実施し、集計した結果から家庭や地域、学校における食育の推進状況を把握することができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	食育に関心の薄い保護者や家庭もあり、アンケート結果だけでなく、食育の授業の様子や学校畑の野菜の収穫などを給食だよりや学年だより、学校ホームページを利用して発信していく必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	全小中学校で事業を実施しており、今後も継続して事業を実施していく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	教科研究事業補助
R5年度 事業名	教科研究事業補助

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	------------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の指導育成のために教員が自主的に行う研究活動を推進する。				
	概要	市内小中学校の教員が25部会に分かれて教科ごとに行う研究活動に対し補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市小中学校教育研究部が行う教育研究活動に補助金を交付している。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教科等研究部会の延べ開催回数		回	目標値	50	100	100	100	100
				実績値	151	236	245	144	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	研究活動刊行物発行数 ※～2020年度		部	目標値					
				実績値					
	計算 根拠	対象となる教科等研究部会数・学校数		達成率					
				実数値					
	年間の活動報告 ※2021年度～		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	350	315	315	315	415		事業タイプ	単独事業
	決算額	285	296	314	315	400		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	601	教科研究補助金	315	315
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	315

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
	取組内容	教職員による教育文化研究の活動に要する経費に補助を行う。

来年度へ向けて	R5年度の実績	各教科ごとに研究活動を実施し、その内4部会では、研究活動の刊行物を発行した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	各教科の積極的な研究活動により、児童生徒の学力向上や自己教育力の高揚が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	活動報告の共有方法については、業務改善の一環としてデジタル化に向けて引き続き検討していく。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	特別支援学級諸事業補助
R5年度 事業名	特別支援学級諸事業補助

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	特別支援学級に通う児童生徒の社会適応性を培うために行う事業を推進する。				
	概要	他校との合同運動会や学習発表会などの事業に対し補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	特別支援学級を設置している学校が実施する事業に補助を行う。	
	現在	補助金等交付				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
対象児童生徒が参加する行事実施回数		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	
			達成率	100	100	100	100	
計算根拠	各種事業のうち補助対象となる事業		実数値					
ランク			A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
実
施

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	368	335	285	435	285
決算額	108	98	244	424	285

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	1	3	611	特別支援学級事業費等補助金	325	244
2							
3							
4							
5以降							
						合計	244

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	15

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者にも業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

育友会事業と特別支援教育研究部が実施する学習発表会、および連合体育大会の開催にかかる経費に対して補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

育友会事業と特別支援教育研究部が実施する学習発表会、および連合体育大会の開催にかかる経費に対して補助した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

令和5年度は、特別支援教育研究大会鯖丹大会が鯖江市で開催され、全国各地の皆様と研究協議を深めることができた。各事業の開催によって特別支援学級児童生徒の社会適応性の向上が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

各事業の開催によって特別支援学級児童生徒の社会適応性の向上が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	情操教育推進事業補助
R5年度 事業名	情操教育推進事業補助

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	------------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の情操教育のために行う事業を推進する。					
	概要	演劇鑑賞などの事業に対し補助を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	市内の小中学生、幼稚園児に対し他人を思いやる心を育てる演劇鑑賞や啓発看板の設 置等に要する経費に補助を行う。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
観劇実施回数		回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	
計算 根拠	補助対象となる事業のうち子どもが参加する事業		達成率	100	100	100	100	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
実
施

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	450	500	500	600		事業タイプ	単独事業
	決算額	300	450	500	500	600		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	621	情操教育推進事業費補助金	600	600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	600

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	5

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	「鯖江市心のあたかい人づくり推進委員会」の活動として行っている、市内の小中学生、幼稚園児に対し他人を思いやる心を育てる演劇鑑賞や啓発看板の設置等に要する経費に補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市内の児童生徒および園児の豊かな心づくりと健全育成を目指す事業に対して補助を行った。R5年度は、感染対策をしながら、市内12小学校と、幼稚園4園を対象に観劇を実施した。さらに、市内中学校3校に対して道徳教育資料を購入した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	児童たちへの情操教育を図るため、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。しかし、昨今の物価高騰や人件費高騰により、観劇実施にかかる費用が高騰しており、その他の啓発活動にかけられる経費が限られる状況にある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	今後も観劇実施にかかる費用が高騰し、その他の啓発活動にかけられる経費が限られる状況にあり、事業予算について検討する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0				
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0				

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	小中学校連合音楽会補助事業
R5年度 事業名	小中学校連合音楽会補助事業

総合戦略 体系	336	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	--------------------------------	----------------	---------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	2024
	目的	音楽教育の振興と音楽担当教員の資質向上を図るための連合音楽会の開催を支援する。				
	概要	市内小中学校による連合音楽会の開催費用に対し補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市音楽研究部が行う連合音楽会の開催や各小中学校が参加に要する経費について補助金を交付している。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	鯖江市音楽研究部会の開催		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	9	13	11		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	連合音楽会参加校数		校	目標値	15	15	13	13	13
				実績値	-	12	13		
	計算 根拠	小中学校連合音楽会が補助対象事業	達成率		80	100			
			実数値			13/13			
			ランク	-	B	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	380	250	250	250	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	250	250			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	631			250
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	250

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	2

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市内の小中学校による連合音楽会の開催および参加に要する経費に補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度は、小中学校合同一斉開催ということで、コロナ禍前とほぼ同様の形態で連合音楽会を開催した。コロナ禍を経て、事業の見直しを子なった結果、小学校は全12校参加するが、中学校は1校のみで3校が3年間でローテーションし参加するよう変更し、開催した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	連合音楽会によって音楽教育の振興と音楽担当教員の資質向上が図られている。令和6年度は、中学校は1校のみで3校が3年間でローテーションし参加するよう変更し、開催する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	小学校費の各種学校行事費補助金へ統合。
	R7方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	小学校費の各種学校行事費補助金へ統合。

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	学校生活支援ボランティア事業
R5年度 事業名	学校生活支援ボランティア事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	地域の一般ボランティアに学校の教育活動を支援していただく体制を整備する。				
	概要	地域の一般ボランティアに児童の校外学習や伝統工芸などの体験活動、感謝祭や交通安全教室などの学校行事、図書室の本の整理や花壇、畑の整備などの環境整備などを行っていただく際のボランティア保険料を負担する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	各小学校がボランティアを募集。支援を行っていただく際の傷害保険料支払いを学校教育課で行っている。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ボランティア登録人数		人	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	260	268	274	272	
	計算 根拠		達成率	104.0	107.2	109.6	108.8		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	116	116	105	105	105		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	91	91	94	96	96		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	105
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	105

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	学校生活ボランティア推進事業費補助金			105
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	105

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	地域の一般ボランティアを拡充するために、広報活動に力を入れ、ボランティアの確保につなげ、学校生活を支援する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	274名の地域一般ボランティアの方の確保ができ、学校生活の支援ができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は感染症対策としての制限が緩和され、地域の皆さまにボランティアとして支援していただく体制を整備していく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	ICT学習支援事業
R5年度 事業名	ICT学習支援事業

総合戦略 体系	261	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	IT教育の推進
------------	-----	--------------------------------	-------------	---------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	小中学校でコンピュータを活用したICT教育を積極的に推進し、学校教育における情報教育を充実する。					
	概要	各小中学校に専門知識のある支援員を派遣し、タブレット端末・コンピュータを活用した授業のサポートや技術的支援を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	学習支援については業者に委託し、各小中学校に年間6回、4時間ずつ、IT支援を行う指導者の派遣を依頼している。		
	現在	民間等委託(全部)					

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
支援時間/校			時間	目標値	24	24	24	24	24
				実績値	24	24	24	24	
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
児童生徒の受講率			%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	受講者/児童生徒数			達成率	100	100	100	100	
				実数値	6,105/6,105	6,013/6,013	5,905/5,905	5,777/5,777	
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,495	1,485	2,916	2,297	2,575		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,584	1,485	1,882	2,218	2,218		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	2,060
	2	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	515
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,575

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	コンピューターを活用した授業のための教師へのサポート、学習支援のための技術的支援を行うことを目的に、各小中学校に年間6回、4時間ずつ、IT支援を行う指導者を派遣する。 これまでの校務支援補助やパソコンルーム使用した授業支援だけでなく、GIGAスクール端末も含む授業支援に対応して教職員をサポートするため、より専門性が高いスキルをもったICT支援員に変更する。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 各小中学校に年間6回、4時間ずつに変更してIT支援を実施。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 GIGAスクール構想により配備したタブレット端末の活用が進むにつれて、教員の負担が増しているため、一層の支援体制強化が必要である。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 教職員の負担を軽減するため、ICT機器の管理・運用面での支援業務を強化する。 R7方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

R6年度事業名	各種学校行事費補助事業
R5年度事業名	各種学校行事費補助事業

総合戦略体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
--------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

PLAN計画	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の技能や体力増進を図るために開催される各種大会等への参加や部活動を支援する。					
	概要	児童生徒の技能や体力増進を図るために開催される各種大会等への参加や部活動を支援する。					
	法令等根拠		実施形態	内容	各種大会等に参加した場合、各学校の保護者会や教科研究部に補助金を交付する。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
県内大会・競技会への補助対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	補助件数/補助対象大会・競技会数		達成率	100	100	100	100	
			実数値	13/13	22/22	20/20	25/25	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	8,050	7,895	10,049	11,074	9,531		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,065	7,077	8,126	8,439	8,465		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	602	各種学校行事費補助金	2,474	1,503
	2	10	3	2	611	各種学校行事費補助金	9,632	8,028
	3							
	4							
	5以降							
							合計	9,531

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	各種大会・競技会参加に係る経費や部活動に必要な備品の購入への補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	中学校県内大会ほか14大会参加および鯖江中学校ほか2校の吹奏楽部の備品購入経費について補助した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R5年度はコロナ禍が終わり、各種大会が例年通り開催され、補助を行った。各種大会等に参加することにより、児童生徒の技能や体力増進が図られており、今後も補助を行い活動を継続させる必要がある。令和6年度は全中大会の一部が福井県で開催されることもあり、より多くの競技に生徒が参加する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	小学校費の小中学校連合音楽会補助金を統合。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	小学校費の小中学校連合音楽会補助金を統合。

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	学校保健会事業補助
R5年度 事業名	学校保健会事業補助

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	------------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の保健衛生教育のために行う事業を推進する。				
	概要	近視予防啓発や歯磨き推進などの事業に対し補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市学校保健会の行う諸事業に対し補助金を交付している。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施回数			回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	2	2	
	計算 根拠	補助対象となる活動回数			達成率	100	100	100	100	
					実数値					
					ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	173	155	155	155	155		事業タイ	単独事業
	決算額	167	155	155	155	155		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	201	教育指導諸経費	50,121	155
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	155

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	学校保健会が実施する学校保健会活動に要する経費(本部負担費・印刷製本費・報償費・通信運搬費等)に助成する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	鯖江市学校保健会の実施する学校保健会活動に要する経費に補助を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度も各事業に取り組み、児童生徒の保健衛生教育が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	今後も児童生徒の保健衛生教育のために補助を継続する。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	学校生活・学習支援員等配置事業
R5年度 事業名	学校生活・学習支援員等配置事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	全ての児童生徒の学校生活と学習をサポートする。					
	概要	身体の障害や軽度の発達障害などにより学校での学習・生活を行う上で特別な援助、支援を必要とする児童生徒、中学校で相談教室に通う生徒、日本語指導が必要な児童生徒をサポートするため、学校生活・学習支援員、学級復帰支援員、外国人等への日本語初期指導員を配置する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	学校生活・学習支援員等を各小中学校の必要に応じて配置している。		
	現在	市直営					

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	配置人数			人	目標値	40	43	43	43	43
					実績値	44	45	49	49	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率			%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	支援が必要な児童に対して支援する割合			達成率	100	100	100	100	
					実数値	205/205	214/214	260/260	261/261	
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	92,265	90,233	94,386	112,058	155,137		事業タイプ	単独事業
	決算額	85,041	88,413	93,571	104,521	144,380		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	211	学校生活・学習支援事業費	167,631	141,607
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	141,607

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	外国人児童生徒等支援事業費補助金		1,204	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,204

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	46
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	発達障害、肢体等の障がい等で支援が必要と認める児童に対し、学校内で学習支援、学校生活支援、介助支援などの個別支援を行う支援員を49人配置する。(医療的ケア児のために看護師等資格を持つ支援員を配置する。)	

来年度へ向けて	R5年度の実績	49人の学校生活・学習支援員を配置することができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	年々、支援を必要とする児童生徒が増えている。また、日本語の初期指導が必要な外国人等への対応も増えてきており、必要な人材を確実に確保する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	外国人等への対応に必要な人材の確保に努める。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市基礎学力調査事業
R5年度 事業名	市基礎学力調査事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	子どもがいいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	------------------------------------	---------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	市内小学校児童の基礎学力、学習意欲の向上を図るとともに、小中学校の授業の改善向上、指導充実を図る。				
	概要	小学校4年生から6年生の全児童を対象に、国語と算数の学力調査を実施し、結果を基に日々の指導に反映させることで児童の学力向上につなげる。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	小学校4年生から6年生の全児童を対象に、国語と算数の学力調査を実施する。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	学力調査のべ回数		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	学力調査総検査人数/対象人数		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	学力調査総検査人数/(在籍人数×教科数×実施回数)		達成率	100	100	100	100	
				実数値	4,198/4,198	4,174/4,174	3,938/3,938	3,630/3,630	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	264	205	222	207	1,600		事業タイプ	単独事業
	決算額	205	205	214	207	1,307		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	201	教育指導諸経費	50,121	1,600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,600

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	6

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	小学校4年生から6年生の全児童を対象に、国語と算数の学力調査を実施する。この結果分析を基に指導改善を行い、児童の学力向上につなげる。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R1年度より、問題数を減らし、活用力を問う内容を中心に出题することに変更した。テスト時間を短縮し、テスト後すぐに採点＆解説を行う時間を確保することで、学力の定着を図った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R1年度から学力調査の方法を変更して実施しているが、R4年度からは、実施後の分析結果を2学期からの指導改善等に活かせるよう、実施時期を11月から7月に前倒した。問題作成を教員が自作しているため、負担となっていたが、R6より業者テストを導入し、教職員の負担を軽減するとともに、テスト自体、および結果分析の質の向上を図る。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	学校図書館図書整備事業
R5年度 事業名	学校図書館図書整備事業

総合戦略 体系	334	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校図書館の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	----------

PLAN 計画	部署名	学校教育課		開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	児童生徒の読書活動を推進する。					
	概要	学校図書館図書標準を達成するよう各学校図書室の図書を整備する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	各小中学校に図書購入費として配当し、必要な図書を購入している。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	図書標準達成率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	114.9	117.5	118.3	120.1	
	計算 根拠	小中学校図書館蔵書数÷標準図書数×100	達成率	114.9	117.5	118.3	120.1		
			実数値	73,216/150,76	75,550/149,40	74,517/147,48	75,823/146,32		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,900	6,210	6,210	6,210	6,210		事業タイプ	単独事業
	決算額	6,845	6,137	6,100	5,974	5,483		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	3,780
	2	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	2,430
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,210

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
有効性	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	各小中学校に図書購入費として配当し、必要な図書を購入する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	標準冊数:147,480冊に対して、現蔵冊数:174,517冊 充足率 118.3%
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	学校によって充足率に差があるため、充足率の低い学校の蔵書数を増やす必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	充足率の低い学校に対し、蔵書数を増やすよう指導する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	産業を体験し理解を深める学習事業
R5年度事業名	産業を体験し理解を深める学習事業

総合戦略体系	262	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	ものづくりを核としたふるさと教育の推進
--------	-----	--------------------------------	-------------	---------------------

PLAN計画	部署名	学校教育課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	小学校児童が鯖江市の地場産業に対して理解を深め、興味を持つ。				
	概要	小学校児童が眼鏡・漆器・繊維の製作体験を行う。				
	法令等根拠		実施形態	内容	各協会、組合に依頼し体験を実施。学校教育課から協会等に手数料を支払う。	
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	市内小学校実施校数(小学校12校)		校	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12	12	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	小学生体験割合		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	99.5	100	
	計算根拠	体験した児童数÷体験対象児童数×100	達成率	100	100	99.5	100		
			実数値	658/658	665/665	610/613	617/617		
				ランク	A	A	A		
	前年度ランク								
	B、Cの理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,030	700	1,849	1,750	2,133		事業タイプ	単独事業
	決算額	795	610	1,531	1,486	1,744		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	201	教育指導諸経費	50,121	2,133
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,133

補助金等	No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	バスを借り上げて、眼鏡会館、漆器会館、繊維会館の3か所のうち2か所を訪問し、眼鏡・漆器・繊維の製作体験を行う。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	漆器、眼鏡、繊維の鯖江地場産業について、それぞれ体験活動を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	市内12小学校の児童610名が漆器の給付け体験もしくは眼鏡材料を使ったアクセサリーづくり体験、石田織の機織りや施設の見学を行った。 漆器の体験活動における所要時間が他の2体験よりもかかるため、体験時間等の調整が必要。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
R7年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	中学校産業教育支援事業
R5年度 事業名	中学校産業教育支援事業

総合戦略 体系	262	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	ものづくりを核としたふるさと教育の推進
------------	-----	--------------------------------	-------------	---------------------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	生徒の地場産業への理解や関心を高める。					
	概要	デザイン教室を各中学校で実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	各中学校でデザイン教室を実施する。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	全ての中学校で講演会およびデザインに係る授業の実施		校	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	優秀な作品の展示数		点	目標値	6	6	22	20	21
				実績値	6	6	29	29	
	計算 根拠	金・銀は各校1点、銅賞は各クラスから1点ずつ		達成率	100	100	131.8	131.8	
				実数値	6/6	6/6	29/22	29/20	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	825	127	134	149	144		事業タイプ	単独事業
	決算額	34	26	134	149	139		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	144
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	144

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市出身の様々な業界で活躍されている方を講師に招いて講演を聞くことにより自分の将来について考える機会を得ることと、眼鏡業界で働くデザイナーの指導により自分で眼鏡のデザインを行うことで地場産業に対する関心を高める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	福井県眼鏡協会の協力の下、生徒自ら眼鏡のデザインを行い、地場産業に対する関心を高めた。さらに優秀作品として、金賞・銀賞は各校1点、銅賞は各クラスから1点ずつ選定してもらい、市役所の1階ホールにて展示を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 眼鏡協会の協力の下、外部講師を招へいし、各教室でデザイン実習を行った。外部講師(デザイナー)の招へいのため、継続的に眼鏡協会の協力をいただく必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒ 維持	

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	クリエイティブ教育都市事業
R5年度 事業名	クリエイティブ教育都市事業

総合戦略 体系	261	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	IT教育の推進
------------	-----	--------------------------------	-------------	---------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	ICT社会を支えていく子どもたちにプログラミングなどの技術を習得させる。				
	概要	小学校において、専用パソコンを利用したプログラミング教室を開催するための企画運営を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市において専用パソコンを購入、クラブ活動などで利用する学校に供与する。講師は民間委託。	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標	活動指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	こども用パソコンを活用したプログラミングの基礎実習の実施小中学校数	校	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	12	12	12	15	
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	こども用パソコンを活用したプログラミングの基礎実習の実施回数	回	目標値	150	140	140	200	216
			実績値	114	118	144	206	
	計算根拠	クラブの実施回120 総合学習の実施回数96	達成率	76	84.3	102.8	103	
			実数値	114/150	118/140	144/140	206/200	
			ランク	C	B	A		
	前年度ランクB、Cの理由							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	700	665	665	1,331	1,826		事業タイプ	交付金事業
	決算額	572	536	574	1,331	1,826		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	1,826
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,826

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.11
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市民主役事業の取り組みとして、「IchigoJam」を利用し、市内全小中学校のクラブ活動などでこども用パソコンを活用したプログラミングの基礎実習を実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市内全小学校におけるクラブ活動、および4学年全クラス総合学習として、プログラミング教育を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	これまで鯖江市内全ての小学校、4年生全クラスに対してプログラミング授業2コマと市内全小学校におけるクラブ活動を行ってきた。令和5年度からはプログラミング教育を段階的に拡充するため、鯖江東小をパイロット校に指定し、小学校5年生を対象に6コマ授業を実施した。令和6年度は対象を6校に拡大し、実施する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	継続してきた当事業の成果を踏まえ、実施規模を再検討したうえで、受託者と計画を立てる。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R6年度事業名	クリエイティブ教育都市事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	1,875
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	ふるさと教育推進事業
R5年度 事業名	ふるさと教育推進事業

総合戦略 体系	262	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	ものづくりを核としたふるさと教育の推進
------------	-----	--------------------------------	-------------	---------------------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江の発展を志向できる児童生徒を育てる。				
	概要	各小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業を学ぶ。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	各小中学校に講師を招き、謝礼を支払う。	
	現在	市直営				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
講演会の実施率		%	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	12	15	15	15	
計算根拠	実施小・中学校/市内小中学校15校		達成率	80	100	100	100	
			実数値					
			ランク	B	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
実
施

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	612	1,920	1,920	1,920	1,920		事業タイプ	単独事業
	決算額	307	697	1,088	1,284	1,240		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	1,440
	2	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	480
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,920

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	市内小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業を学ぶことを通して、ふるさと鯖江の発展を志向できる児童生徒を育てる。	
来年度 の実績	市内小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業等について学んだ。	
来年度 へ向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 市内小中学校15校で、講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業等について学んだ。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	体育大好き支援事業
R5年度 事業名	体育大好き支援事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	児童の体力向上を図る。					
	概要	専門的な知識を持った講師により、小学校については「体づくり」、「ゲーム」、「表現リズム遊び」、「器械・器具を使つての運動遊び」の指導、中学校についてはダンス指導を行い、運動好き、体育好きの児童生徒を育成する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	学校教育課において民間事業者等と委託契約。日時・内容は受託者が学校と調整し実施。		
	現在	民間等委託(全部)					

D

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
実施小学校		校	目標値					
			実績値					
実施校数 ※R3～小中学校		校	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	15	15	15	15	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
実施回数		回	目標値					
			実績値					
計算 根拠			達成率					
			実数値					
実施回数 ※R3～小中学校		回	目標値	360	360	360	350	350
			実績値	313	388	364	353	
計算 根拠			達成率	86.9	107.8	101.1	100.9	
			実数値					
			ランク	B	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,746	1,734	2,174	2,056	2,011		事業タイ	単独事業
	決算額	1,746	1,734	2,165	2,056	2,010		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	1,637
	2	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	374
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,011

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1			
	2			
	3			
	4			
5以降				
			合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	学校体育において、発達段階に応じた指導内容の充実を図ることにより、児童に体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、「運動好き」「体育好き」の児童を育成するとともに、生涯にわたって運動に親しむ基礎を培う。併せて、指導者の資質向上を図ることにより本市児童の体力の向上を目指す。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	各種目ごとの専門家から、専門的な知識や技能を学ぶだけでなく、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができ、児童生徒の意欲と基礎体力の向上につながった。また、専門家の指導を取り入れながら授業改善に取り組む教員もおり、教員の資質向上も図られている。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍による児童生徒の体力の低下は改善傾向にあるが、令和6年度も体育好きな児童生徒を育成し、さらなる体力向上をはかるため継続して実施する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	受託者と実施回数を検討・判断しながら、児童生徒の体力向上を図る。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	体育大好き支援事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	2,172
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	部活動指導員配置事業
R5年度 事業名	部活動指導員配置事業

総合戦略 体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	教員の負担を軽減し、生徒への指導や教科研究等に注力できる体制づくりを図る。				
	概要	部活動の指導や引率等を行う部活動指導員を各中学校に配置する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	中学校において部活動の指導、大会への引率等を行う。（一部の部活動）	
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	部活動指導員を配置する市内の中学校数		校	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	部活動指導員による活動時間		時間	目標値	2,160	2,160	2,160	1,076	950
				実績値	1,755	2,051	1,379	915	
	計算 根拠			達成率	81.3	95	63.8	85	
				実数値	1,755/2,160	2,051/2,160	1,379/2,160	915/1,076	
			ランク	B	A	C			
	前年度 ランク B、Cの 理由	休日の部活動について、部活動地域移行が進み、当事業での指導員配置時間が減少したため							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	2,841	2,809	3,282	2,206	1,464		経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	3,600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,600

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	部活動支援員配置事業費補助金		2,376	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	2,376

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	1620

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効 率 性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している				
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安		判定	有 効 性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない			
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善		維持または事務改善					

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	3中学校に5人の指導者を配置し、部活動にかかる教員の負担を軽減する。	

来 年 度 へ 向 け て	R5年度の実績	市内3中学校で5人の指導者に指導を依頼し、実施することができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和8年度に向けて、休日の部活動の地域移行を段階的に進めていることから、平日の教員の負担軽減を目的として、必要な人材を確保・配置する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	学校運営支援員配置事業
R5年度 事業名	学校運営支援員配置事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	------------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	教員の負担を軽減し、児童生徒への指導や教科研究等に注力できる体制づくりを図る。				
	概要	学習プリントの印刷などを教員に代わって行うサポートスタッフを各小中学校に配置する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	各小中学校に1名ずつ以上配置し、学習プリント等の印刷、配布準備、授業準備など教 員の補助業務を行う。	
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	学校運営支援員を配置する市内の小中学校数		校	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	15	15	15	15	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	学校運営支援員による活動時間		時間	目標値	5,670	5,670	5,670	5,670	5,670
				実績値	4,629	5,410	5,225	5,116	
	計算 根拠			達成率	81.6	95.4	92.1	90.2	
				実数値	4,629/5,670	5,410/5,670	5,225/5,670	5,116/5,670	
			ランク	B	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	体調不良等で、長期の休暇を取った方が数名いたため								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,263	4,877	4,990	5,193	5,406		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	6,263	4,629	4,788	5,193	5,406		経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,889	3,912
	2	10	3	2	201	教育振興諸経費	19,589	1,369
	3							
	4							
	5以降							
							合計	5,281

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	学校運営支援員配置事業費補助金		2,466	
	2	学校運営支援員配置事業費補助金		882	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	3,348

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	20
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある								
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない			
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善		成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない			

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	全小中学校に配置し、教員の負担を軽減する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	12小学校に18人、3中学校に5人の支援員を配置した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R5年度は12小学校に18人、3中学校に4人の支援員を配置しているが、引き続き教員の負担軽減を図るため、必要な人材を確保し配置する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	SDGs教育推進事業
R5年度 事業名	SDGs教育推進事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	SDGsの理念を小中学生が理解する。					
	概要	SDGsの理念を中学生が理解するための外部講師による講演会等を開催する。また、小学校はSDGs推進センター職員が学校へ赴き、出前授業を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	SDGsの理念を中学生が理解するための外部講師による講演会等を開催する。また、小学校はSDGs推進センター職員が学校へ赴き、出前授業を行う。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	講演の対象となる小中学校		校	目標値	3	15	15	15	15
				実績値	3	15	15	15	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	実施回数		回	目標値	3	15	15	15	15
				実績値	3	15	15	15	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値	3/3	15/15	15/15	15/15	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	110	40	926	650	110		事業タイ	単独事業
	決算額	110	0	634	577	110		経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	201	教育指導諸経費	50,121	110
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	110

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	2030年の地球を担う鯖江市内の中学校3年生の生徒を対象に、持続可能な開発目標(SDGs)の理念を定着させることを目的に、外部講師による講演会を行う。また、小学生はSDGs推進センター職員が学校にて出前授業を行い、SDGsについて学ぶ。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	2030年の地球を担う鯖江市内の中学校3年生の生徒を対象に、持続可能な開発目標(SDGs)の理念を定着させることを目的に、専門講師による講演会を行った。小学生については、小学生はSDGs推進センターを訪問し、SDGsについて学んだ。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は小学校4または5年生が「さばえSDGs推進センター」を訪問し、SDGsに関する理解を深める機会を持つことができた。中学校全校でセンターからの出前授業で講演会を実施した。令和6年度は、小学校については、訪問型から出前授業へと変更し、SDGs推進センター職員による講演会を行う。中学校については、より専門的な内容を学ぶため、外部講師を招いて講演会を行う。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	小中学生がSDGsについて理解を深める事業を行う。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	特色ある学校づくり事業
R5年度 事業名	特色ある学校づくり事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

PLAN 計画	部署名	学校教育課		開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	各学校が「学校経営ビジョン」に沿って、創意工夫をこらしながら特色ある学校づくりを進める。					
	概要	各教科および特別活動や総合的な学習の時間の中で身につけた知識や技能等を生かし、自然体験やボランティア活動、産業体験等の社会体験、ものづくりや生産活動等体験的な学習を計画的に行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	学校に予算配当を行う。		
	現在	市直営					

D

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
対象となる小学校		校	目標値					
			実績値					
対象となる学校 ※R3～小中学校		校	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	15	15	15	15	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
活動児童数		名	目標値					
			実績値					
計算 根拠	小学校5,6年生の児童数		達成率					
			実数値					
活動児童・生徒数 ※R3～小中学校		名	目標値	3,502	3,499	3,413	3,320	3,221
			実績値	3,502	3,499	3,413	3,320	
計算 根拠	小学校5,6年生の児童数 中学校全学年の生徒数		達成率	100	100	100	100	
			実数値	3,502/3,502	3,499/3,499	3,413/3,413	3,320/3,320	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,400	8,286	9,000	9,000	12,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,245	8,286	8,068	7,860	10,677		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	251	特色ある学校づくり事業費	6,000	6,000
	2	10	3	2	251	特色ある学校づくり事業費	3,000	6,000
	3							
	4							
	5以降							
							合計	12,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	ふるさとの魅力発信推進事業補助金		300	
	2	寄付採納		3,000	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	3,300

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	学校の独自性を活かしながら様々な事業を実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	学校の独自性を活かしながら様々な事業を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	ふるさとさばえに自信と誇りの持てる教育の実現のため、ふるさと教育の一層の充実が求められている。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	学校の独自性を活かしながら特色ある学校づくりを進めるための様々な教育活動を実施する。その取り組みの一環として、児童生徒が主体となって事業を計画し、実行する学習活動に対して、「こどもによる、こどものための、こども予算」として予算配当する。(小学校 1校100千円、中学校 1校300千円)さらに、東部地区の3小学校(片上小、北中山小、河和田小)の交流事業として、小規模校間で相互訪問やオンラインによる合同授業、発表会、交流活動などを行うことにより、集団で活動することの楽しさを知り、多様な考え方や価値観に触れる機会を創出する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	鯖江・中央中学校冬期通学バス運行支援事業
R5年度 事業名	鯖江・中央中学校冬期通学バス運行支援事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	子育て世帯の経済的負担の軽減ならびに冬期間の生徒の登下校の安全を考慮して、スクールバス利用者に対して一律の助成を行う。					
	概要	鯖江中学校、中央中学校の生徒で冬期スクールバスを利用する者に対して、バス利用料金のうち1万円の助成を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江中学校、中央中学校に補助金として交付する。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	冬期スクールバス利用助成人数		人	目標値		500	500	650	600
				実績値		536	569	651	
	計算 根拠			達成率		107.2	113.8	100.1	
				実数値		536/500	569/500	651/650	
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			5,360	5,690	8,463		事業タイプ	単独事業
	決算額			5,360	5,690	8,463		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	3	2	621	冬期通学バス運行補助金	15,589	9,100
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	9,100

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ					
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない	
				財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない	
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない	
	9点～16点	維持または 事務改善			

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	冬期スクールバスの利用料金を一部負担することで、子育て世帯の経済的負担を軽減する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	鯖江中学校 324名、中央中学校 245名が冬期通学バスを利用した。冬期スクールバスの利用料金を一部負担することで、子育て世帯の経済的負担の軽減となった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	冬期スクールバスの利用料金を一部負担することで、継続して子育て世帯の経済的負担を軽減する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	生徒一人当たり、1万3千円の補助をする。さらに、保護者負担軽減として、きょうだいで利用する場合には、第2子以降の生徒には、補助を増加し、2万円を補助する。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	いじめ予防プログラム実施事業
R5年度 事業名	いじめ予防プログラム実施事業

総合戦略 体系	331	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	------------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	学校教育課	開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	いじめの未然防止教育の充実を図るため、市内小中学校において、児童生徒および教職員を対象とした、いじめ予防プログラムを実施する。				
	概要	各校において、年1回、小学5年生および中学1年生の児童生徒を対象として、弁護士によるいじめ予防授業を行うとともに、同じく年1回、市内の小中学校に勤務する教職員を対象とした研修会を開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	法律の専門家である弁護士を講師として依頼し、研修を実施する。	
	現在	市直営				

活動指標	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	弁護士による授業および教員への研修実施回数		回	目標値			9	7	7
				実績値			9	7	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	研修実施回数(市内小中学校15校、教職員対象)		回	目標値			16	7	7
				実績値			16	7	
	計算 根拠			達成率			100	100	
				実数値			16/16	7/7	
				ランク			A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				550	281		事業タイ	単独事業
	決算額				550	265		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	201	教育指導諸経費	50,121	237
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	237

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
11	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	各校において、小学6年生、中学1年生を対象として、弁護士によるいじめ予防授業を行う。また、市内の小中学校に勤務する教職員を対象とした研修会を開催する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	各校において、小学6年生、中学1年生を対象として、弁護士によるいじめ予防授業を行う。また、市内の小中学校に勤務する教職員を対象とした研修会を開催した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は、各校において、小学5年生、中学1年生を対象として、弁護士によるいじめ予防授業を行った。また、市内の小中学校に勤務する教職員を対象とした研修会を開催した。 令和6年度は、小学4年生、中学1年生を対象として弁護士によるいじめ予防授業を行う。小学校は、4校を1グループとし、拠点校からリモートで実施する。中学校は、各校において授業を実施する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	地域部活動推進事業費
R5年度事業名	地域部活動推進事業費

総合戦略体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
--------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

PLAN計画	部署名	学校教育課	開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	将来にわたり子どもたちがスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するとともに、学校の働き方改革により、学校教育の質向上を図るため、休日の部活動を地域クラブ活動として実施するため、総合型地域スポーツクラブに対し補助金を交付する。				
	概要	3中学校の、休日に活動する部活動について、スポーツ・文化活動（地域クラブ活動）に移行実施する総合型地域スポーツクラブの活動（指導者報酬や、体制整備に係る費用）に対する補助金				
	法令等根拠		実施形態	内容	総合型地域スポーツクラブの活動（指導者報酬や、体制整備に係る費用）に補助金を交付する	
	現在	市直営				

活動指標	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	地域クラブ活動に移行して実施した部活動数			目標値			50	49	47
				実績値			50	49	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施総合型スポーツクラブの数			目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	計算根拠	事業実施したスポーツクラブ数/事業対象スポーツクラブ数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	3/3	3/3	3/3	3/3		
			ランク			A			
	前年度ランク								
	B、Cの理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				15,700	21,618		事業タイ	補助(県)事業
	決算額				13,075	17,855		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	3	2	271	地域部活動推進事業費	21,207	21,618
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	21,618

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	地域部活動推進事業費補助金		7,370
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	7,370	

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.2
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
取組内容	3中学校の、休日に活動する49の部活動を、3つの総合型地域スポーツクラブに委託し、休日の部活動の地域移行を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R3・4年度は、運動部活動の一部について、総合型地域スポーツクラブに委託して、モデル事業として地域移行を実施していたが、R5年度は市内3スポーツクラブが実施するの活動(指導者報酬や、体制整備に係る費用)に対し、補助金を交付した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R5年度は、総合型スポーツクラブの活動に対して補助を行っていたが、R6年度はスポーツクラブに事業を委託し、部活動の地域移行を実施する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	R7年度も委託事業として行っていくが、総合型スポーツクラブが持続可能な事業展開および委託内容について検討していく必要がある。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒